



国土交通省認定の新技术 バイオトイレ×新浄化装置

正和電工株式会社



公式ホームページ



■社内に設置されているバイオトイレで、実際におがくずをかき混ぜる体験が可能。

■環境保全への想いを胸に、バイオトイレの開発普及に情熱をそそぐ社長のお話。

体験
しましょう!

18の特許取得！発想の原点にふれる視察

事業内容

SDGs(持続可能な開発目標)という用語が市民権を得る以前から、環境保全への願いでバイオトイレの開発に着手。「水を使用しないバイオトイレと新浄化装置を組み合わせると、きれいな水資源の確保につながる」と、国内はもちろん広く海外での普及にも努めている。また、近年問題となっている害獣駆除時の後処理にも着目し、大型の駆除シカの分解処理装置も開発。次世代のために美しい環境を守る姿勢を貫く。

視察内容

1 社屋内展示

- バイオトイレ本体を見学しながら、構造や使用方法の説明を受ける。
- 「家具としても使える」イス型の室内介護用バイオトイレを見学。

2 屋外展示

- ログハウスタイプのバイオトイレ、屋外設置の女性専用仮設トイレ等を見学。
- 大型し尿処理装置、駆除シカの分解処理装置等を見学。

3 説明会・意見交換会

- 多目的ホールにて事業に関する社長のお話を聞いた後、スタッフを交えて質疑応答、意見交換会を行う



先進事例

環境保全への取り組みは国や道から注目を集め、バイオトイレは国土交通省の新技术認定品に。知床、富士山、屋久島など全国で設置、環境大臣表彰等受賞歴多数。JICA支援事業としてベトナムで新浄化装置を活用した環境改善技術の普及に貢献するなど、海外でも普及が進む。



地域・社会に貢献している事例

- ①下水道未整備の公園、河川敷、工事現場、山道等で、環境にやさしい設備として活躍。
- ②自然災害発生時の断水状態に備え、「仮設トイレ」としての需要を想定して商品開発。
- ③海外の発展途上国において全く新しい発想のトイレとして普及が進み、安心して生活できる衛生環境の維持に寄与。

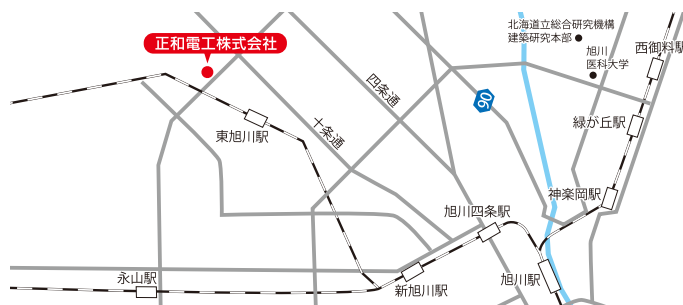
視察概要

- 受け入れ組数 / 1日1組
- 人数 / 5名~10名程度
- 所要時間 / 60分程度

※作業などで場内のエリア制限を設ける場合がございます。

データ

- 住所 / 〒078-8271
北海道旭川市工業団地1条1丁目3-2
- TEL / (0166) 39-7611
- FAX / (0166) 39-7612



旭川駅より車で約30分(約11km)
旭川空港より車で約30分(約14km)

MAPCODE 79 385 283*56(のーなほ)

「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。
※カーナビゲーションシステムをご利用の場合、電話番号による検索結果と異なる場合がございますので、上記のマップコードをご入力ください。